

大谷園林保育園の取り組み Ver10

大谷園林保育園 令和元年 6月号



指先の機能の向上

一般的に2歳児時期になると、運動機能の発達に伴って手の機能も発達し、細かい動きが出来る（巧緻性の向上）ようになってきます。指先をたくさん使うと、いろんな動きが出来るようになるだけでなく、脳が刺激され、「集中力」「思考力」「記憶力」「言葉を操る力」「運動機能」が、発達します。

指先を動かす力をつけよう！！

お箸を使う・ボタンを留める・小さなものを掴むなど、指先を使う動作は生活の中に溢れていますが、大谷園林保育園では、遊びの中で楽しみながら、指先を使い、発達を促す取り組みをしていますので、ご紹介します！！

【シール貼り】

シールをはがして貼るという動作を繰り返すと、指先と脳の神経伝達を何度も行うことが出来ます。



同じことを何度も繰り返すことで、指が細かいところまで自分の思い通りに動かせるようになり、巧緻性や集中力がつきます。

【製作あそび】

壁面製作など、季節感ある題材に各パーツを糊付けします。手指の巧緻性が育てられていることによって、人差し指で、付ける糊の量も調整でき、集中力を高め、完成をイメージし、思考力が育ちます。



【粘土あそび】

こねる時は、手のひら全体を使い、細かい部分は、指先を使ってというように手の使い方を学ぶことが出来ます。



また、作った物をパンやおにぎりなど身近な物に見立てて、ままごとやお店屋さんごっこなど言葉のやり取りを楽しみ、言葉を操る力を習得しています。

【その他】

ひも通し→「つまむ・入れる・ひっぱる」ことで、手指の巧緻性を高めてくれます。

パズル→いろんな形や絵を、はめ合わせ完成に期待しながら、記憶力と集中力を高めていきます。



☆遊ぶ楽しさに支えられることで、集中力や意欲を高めてくれます。指先を使った遊びを楽しみながら、子どもたちの成長と発達を促していきます。

